

無停電
電源装置

日立無停電電源装置(UPS※1)

UNIPARA mini

HIVERTER-UP101es

[ニューラインアップ]

SiC素子^{※2}の全面採用により
高効率・
省スペース化を
実現!!

※1 Uninterruptible Power System

※2 シリコンと炭素で構成される化合物半導体材料。SiCをスイッチング素子に用いた場合、従来のシリコンを用いた素子と比較して、高速化、低損失化、高温動作などが可能になります。

小・中容量モデルUPSのラインアップが拡充。

高いエネルギー効率と小型・軽量化で、製造設備や公共施設など幅広い分野で活用できます。

特長

1

省エネ・電気料金低減

小・中容量モデルとしては業界で初めて主回路にSiC素子を全面採用しました。SiC素子の特長である、優れた高速スイッチング特性と電力損失の小ささを生かすことで、93.5% (最高効率94.3%)^{※3}という業界トップクラスの高いエネルギー効率を実現しました。常時稼働のUPSだからこそ、省エネや電気料金の低減に貢献できます。

※3 定格効率:20kVA UPSの定格効率(20kVA/16kW出力時)、最高効率:20kVA UPSの最高効率(10kVA/10kW出力時)。JIS C 4411-3:2014 附属書J(規定)「UPS効率一測定方法」に準拠

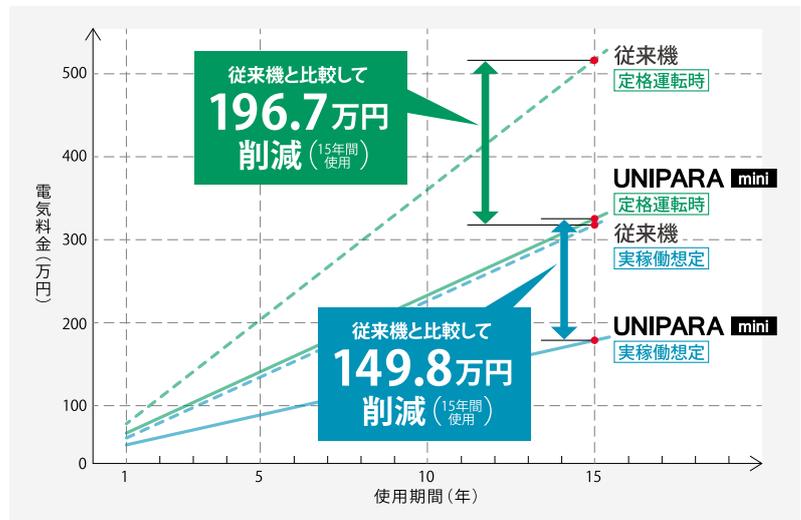
エネルギー効率比較

同等出力UPSとの比較して

高水準

93.5% 省エネ

電気料金比較



■シミュレーション条件

UNIPARA-mini: 従来機(H-MP)ともに20kVA、24時間365日連続運転、空調機成績係数2.0

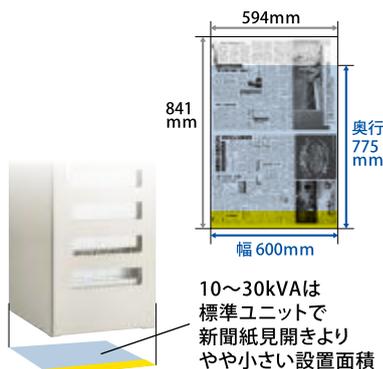
○電力量料金単価: 15円/kWh ○定格運転時: 力率0.8、負荷率100% ○実稼働想定: 力率1.0、負荷率50%、最高効率94.3%

特長
2

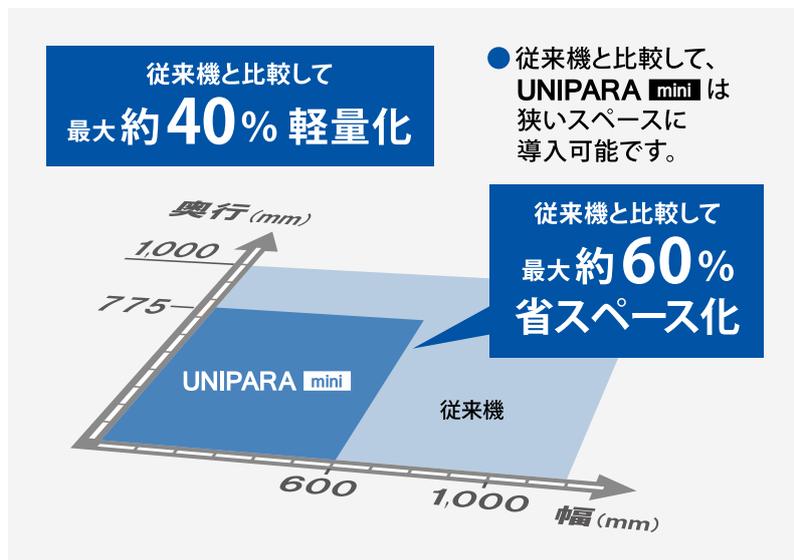
省スペース化・軽量化

設置面積に着目し、最大約60%^{*4}の省スペース化を実現。従来機ではこれまで置けなかった「あのスペース」にも設置できるようになりました。さらに、最大約40%^{*4}の軽量化も実現しました。

*4 従来機(H-MP)比較。30kVAまでは蓄電池込みで1面



質量・設置面積比較(30kVA)



特長
3

高信頼性設計により多様なシステムに対応

「UNIPARA」シリーズの高信頼性設計を踏襲し、2系統電源の入力に対応できます。また、複数台のUPSを用いることで、点検中であってもUPS給電を継続できる待機冗長システムを構成することが可能です。さらに、液晶タッチパネル搭載など、使いやすさが進化しました。

- 2系統入力(UPS入力、バイパス入力)対応が可能、待機冗長システムへも対応
- 出力盤を標準オプションとして準備
- UPS本体に出力分岐の内蔵も可能(10/20kVA)
- 単相負荷への給電も可能
- 10分~60分の蓄電池を幅広く標準化
- 液晶タッチパネル搭載で状況が一目で把握可能、直感的な設定操作が可能



液晶タッチパネル

特長
4

安心の見守りサービス

ネットワークを通じてデータを収集し、UPSの稼働管理をサポートします。日立の遠隔監視・支援センタによる24時間の遠隔監視サービスに加えて、専用のポータルサイトから、お客さまご自身が稼働状態の確認やお問い合わせを行うことができます。



UPS監視画面

お問い合わせ：株式会社日立製作所 インダストリアルプロダクツビジネスユニット 電機システム事業部 03-4554-2620

<http://www.hitachi.co.jp/Div/ise/upshp/index.html>